

一般社団法人 日本リモートセンシング学会 ワークショップ  
～次の大災害時に備えて、衛星画像の可能性～

Possibility of Satellite Data Utilization for Large-Scale Disasters

2016年4月、熊本でM7超えの大規模地震が発生、大災害の原因となったことは皆様の記憶に新しいことと存じます。2017年10月には記録的な日照不足と長雨が発生、月後半には2つの台風が関東に影響を与えるなど、観測史上稀な事象による自然災害も発生しています。災害からの復旧復興は途上であり、今後の大規模地震および異常気象による災害発生の可能性と合わせて予断を許さない状況にあると言えます。一方、宇宙開発分野の進歩は目覚ましく、これらの災害把握に衛星画像が利用され、有効性が確認され始めています。

今回企画した日本リモートセンシング学会 国土防災リモートセンシング研究会のワークショップでは、研究会が取り組んできた大災害時における衛星画像の活用事例を紹介いたします。防災や国土情報整備などを実際の業務に活用することを念頭に取り組んできたガイドライン作成の成果をわかりやすくご紹介するとともに、研究会の今後の展開、新技術の紹介も併せて行いたく存じます。衛星画像を活用されている方はもちろん、これから仕事で使ってみたい方、若い技術者の教育に活かしたい方、多くの皆さまご参加を心からお待ちしております。

1. 日 時： 2018年1月15日（月）14:00～17:10【受付13:30～】
2. 場 所： 東京大学（本郷）工学部7号館2F 73号講義室
3. 費 用： 無料（要：事前申込み）
4. プログラム （司会：日本リモートセンシング学会国土防災リモートセンシング研究会幹事：神岡久彰）

14:00 開会

ご挨拶 （日本リモートセンシング学会国土防災リモートセンシング研究会会長：桑原祐史）

14:05 第一部 基調講演

『(仮) 災害時における超小型リモートセンシング利用について』

東京大学 大学院 工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授 中須賀 真一

『ALOS シリーズ衛星による国土防災分野への貢献』

JAXA（宇宙航空研究開発機構）地球観測研究センター 田殿武雄

15:35 休 憩（10分）

15:45 第二部 国土防災分野における衛星画像の利用検討結果の紹介

① 災害時ガイドラインの紹介

（国土防災リモートセンシング研究会 災害時ガイドラインWG リーダー：坂本淳一）

② 国土防災リモートセンシング研究会の将来展開

（国土防災リモートセンシング研究会 会長：桑原祐史）

16:10 第三部 災害監視における技術紹介

（司会・コメンテータ：国土防災リモートセンシング研究会：斎藤 修）

① 福井県における衛星活用の取組み

（福井県民衛星技術研究組合 理事長：進藤哲次）

② 超小型衛星 Planet による高頻度画像提供サービスの現状報告

（(株)衛星ネットワーク 地球観測衛星プロジェクト主幹：澁谷恵）

③ マルチロータ UAV の最近動向

（(一社)日本ドローンコンソーシアム 理事：伊東明彦）

17:10 閉会

1. 申込み期限：平成30年1月10日（水）※資料準備の都合がありますので、事前申込みをお願いいたします（申込みは、「ワークショップ参加申し込みについて」をご確認ください）
2. CPD発行：本ワークショップに参加頂きますと、測量系CPDポイントが認定されます（3ポイント）

主 催：（一社）日本リモートセンシング学会（担当：国土防災リモートセンシング研究会）

後 援：公益社団法人 土木学会 関東支部、公益社団法人 地盤工学会 関東支部、（一社）日本ドローンコンソーシアム  
国立大学法人 茨城大学 広域水圏環境科学教育研究センター